

予算は、歳入・歳出の見積もりを主たる内容とし、議会の議決により成立します。

重要案件ですので、議長を除く議員全員による予算審査特別委員会を設置し、活発かつ慎重に審議しました。

審議の中で行われた質疑の一部を掲載します。

その他の  
質問はこちら  
(付属資料を  
ご覧ください)



## ふるさと納税の目的とは

**Q** 本市ふるさと納税寄付金における返礼品件数の9割が本社を県外に置く会社が占めているが、ふるさと納税の目的の1つでもある地元産業の育成につながっているのか。

**A** 当制度を利用した販路拡大で地元産業の育成には貢献できている。来年度は地域おこし協力隊にて地域振興イノベーターを採用し、地元産業の育成・知名度向上を目指したい。

## 若年層の移住定住へ

**Q** 空き家バンクリフォーム事業費補助金の増額理由は。

**A** 空き家バンク制度が若年層の移住定住へのインセンティブに、なかなか、つながっていない。補助内容を一部見直し、39歳以下の若年層が空き家バンクリフォーム補助金を申請する場合に、上限を20万円から40万円に増額するものである。

## 安全安心なまちづくり

**Q** 防犯対策事業の工事請負費は、どのような内容か。

**A** 防犯対策として安全安心なまちづくりのために、市内の街路に防犯カメラを設置するもので、犯罪の発生が予想される街路や交通事故が多発する5カ所に設置する予定で、令和8年度まで年5カ所ずつ、3年間で計15カ所に設置する計画である。



防犯カメラのイメージ

## 市内での消費促進へ

**Q** 電子地域通貨事業を地域に定着させるために、どのようなロードマップを描いているのか。

**A** 商工会との連携、商店等への周知、説明会の開催、加盟店募集などを丁寧かつ集中的に実施すると共に、市民への周知も十分に行った上で運用を開始したい。随時キャンペーンを行うほか、市からの給付金に活用するなど、定着に向けた取り組みを進めたい。